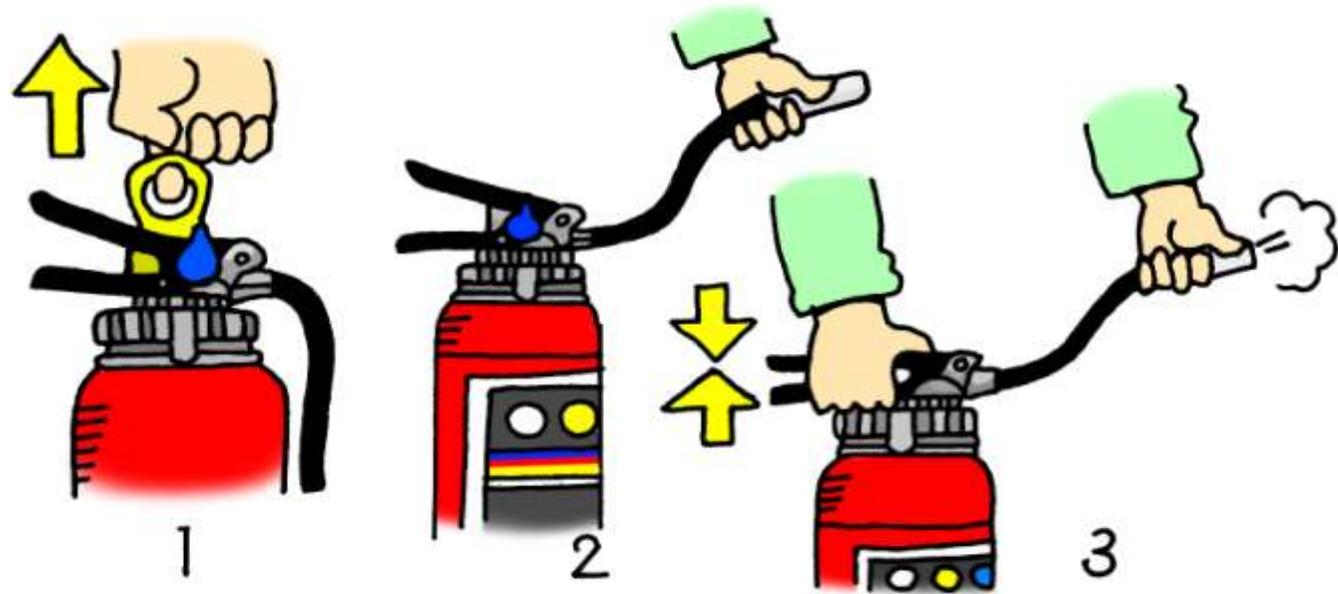


# 消火器（二人操法）



佐賀市防災協会

## 消火器（二人操法）操法要領

実施事項	1 番 員	2 番 員
集 合	スタートライン内側で「休め」の姿勢で待機する。審査長が手を挙げたら、「気をつけ」の姿勢をとり、『 <b>ただ今から煙体験、初期消火を行います。</b> 』と報告する。	スタートライン内側で、1番員と「休め」の姿勢で待機する。審査長が手を挙げたら、「気をつけ」の姿勢をとる。
煙体験・避難	審査長の『競技始め』の号令で、スタートラインを出発し、タオルを口に当てて煙体験ハウスに進入する。中は煙が充満しているので、姿勢を低くし壁をつたって位置を確認しながら2番員と共に出口を目指す。※1	審査長の『競技始め』の号令で、スタートラインを出発し、タオルを口に当てて煙体験ハウスに進入する。中は煙が充満しているので、姿勢を低くし壁をつたって位置を確認しながら1番員と共に出口を目指す。
初 期 消 火 (1番員が煙体験ハウスから出た時から、消火終了(警笛2声)までとする。)	<p>煙体験ハウス通過後、初期消火のスタートゾーン内の消火器①を持って進入線の位置に至り、模擬火災を確認し『<b>火事</b>』と大声で連呼（2回以上）する。その後、『<b>給湯室が火事！！</b>』と出火場所を2番員に伝える。2番員の『<b>火災発見</b>』の呼称後、『<b>119番通報</b>』と号令する。</p> <p>2番員の『よし』の呼称後、消火器操作ゾーンに至り、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「安全ピン」を上引き抜く。</li> </ol> <p>消火器を持って危険ゾーン外の風上に至り、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2 ホースの先を握って火元に向ける。</li> <li>3 レバーを強く握り噴射し消火活動をする。</li> </ol> <p>姿勢を低くし、消火剤の粉末で手前から火元を覆うようにする。</p> <p>消火できなかった場合は、予備消火器③を取りに戻り消火する。この場合は採点審査の減点対象となる。</p>	<p>初期消火ゾーン内において、1番員の『<b>火事</b>』の連呼と『給湯室が火事！！』を聞いた後、『<b>よし</b>』と呼称し進入線の位置に至り、模擬火災を確認し『<b>火災発見</b>』と呼称する。</p> <p>1番員の『119番通報』の号令を受けた後、『<b>よし</b>』と呼称し電話機に至り119番通報する。（通報要領は別紙による。）</p> <p>通報後、所定の消火器②を持って消火器操作ゾーンに至り、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「安全ピン」を上引き抜く。</li> </ol> <p>消火器を持って危険ゾーン外の風上に至り、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2 ホースの先を握って火元に向ける。</li> <li>3 レバーを強く握り噴射し消火活動をする。</li> </ol> <p>姿勢を低くし、消火剤の粉末で火元を覆うようにして 応援消火にあたる。</p>
報 告	競技終了後、2番員と共に「気をつけ」の姿勢をとり、審査長に『 <b>〇〇自衛消防隊競技終了しました。</b> 』と報告し退場する。	

※ 燃焼皿への点火は、1番員が煙体験ハウスの出口を出ると同時に行う。  
 タイム測定は、燃焼皿への点火から警笛2声（消火完了）までとする。

# 電話通報要領

## 通報者

1. 119番をダイヤルする。→
2. 火事です。→
3. 〇町3丁目3-5  
〇〇会社です。〇〇商会です。 →  
必ず出場事業所の住所と会社名を答えること。
4. 1階給湯室から出火しました。 →
5. 私は、〇〇〇〇です。
6. 電話は、〇〇局の〇〇〇〇です。 →

## 通信勤務員

(119番消防です。火事ですか。救急ですか。)

(場所はどこですか。)

(何階建の何階が燃えていますか。)

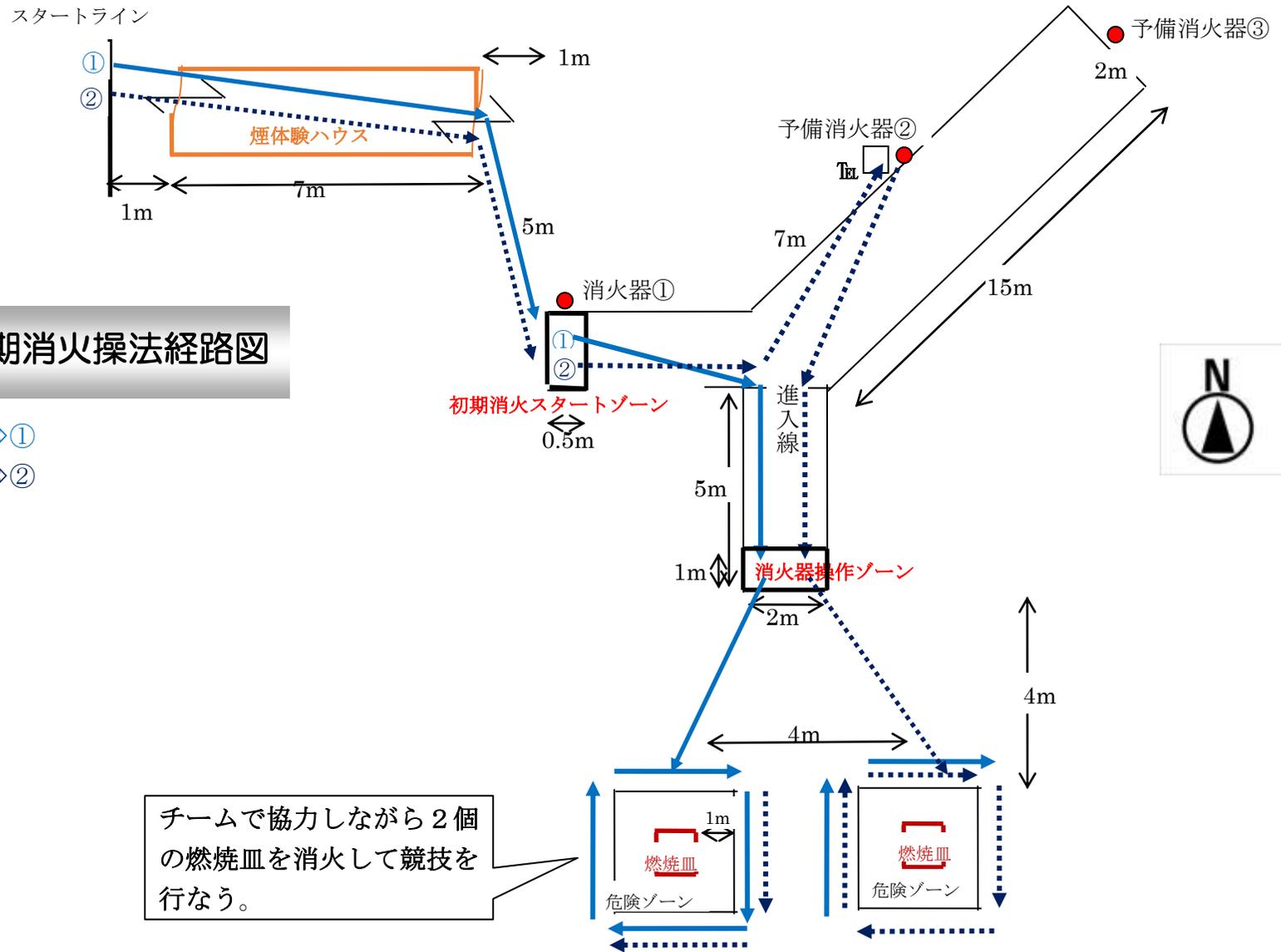
(あなたの名前と電話番号を教えてください。)

(了解)



# 煙体験・初期消火操法経路図

- 1 番員⇒①
- 2 番員⇒②



チームで協力しながら2個の燃焼皿を消火して競技を行なう。